

## 筋肉・脂肪の均衡を改善する

筋肉量UP ←

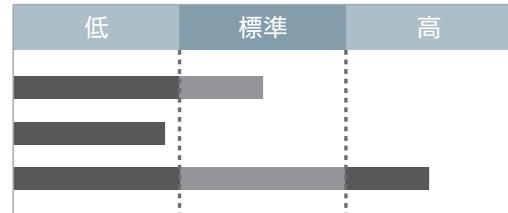
低体重・虚弱型



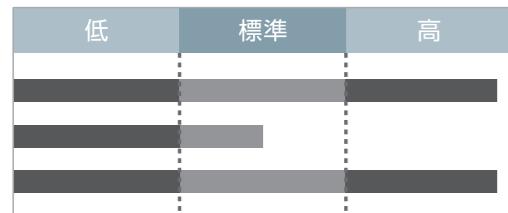
\*摂取量UPで体脂肪量も標準範囲までUP

筋肉量UP・体脂肪量DOWN ←

標準体重・肥満型

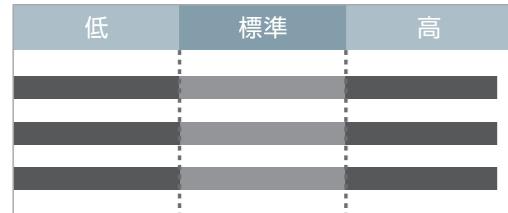


過体重・虚弱型



体脂肪量DOWN ←

過体重・肥満型



△ 当資料は一般的に公開されている運動の種類や効果を参考に作成されています。

△ 体成分の測定結果を基に運動を実施するときは、必ず専門家と相談してください。

△ 運動の効果は強度・頻度、または栄養の摂取条件によって異なります。

△ 推奨運動が必ず該当する体成分の改善を保証するわけではありません。

**InBody**

[InBody470]

ID Jane Doe	身長 156.9cm	年齢 51	性別 女性	測定日時 2020.05.04. 09:46
----------------	---------------	----------	----------	---------------------------

**体成分分析 Body Composition Analysis**

	測定値	体水份量	筋肉量	除脂肪量	体重
体水分量 (L) Total Body Water	27.5 (26.3 ~ 32.1)	27.5	35.1 (33.8 ~ 41.7)	37.3 (35.8 ~ 43.7)	59.1 (43.9 ~ 59.5)
タンパク質量 (kg) Protein	7.2 ( 7.0 ~ 8.6 )				
ミネラル量 (kg) Minerals	2.63 (2.44 ~ 2.98)				
体脂肪量 (kg) Body Fat Mass	21.8 (10.3 ~ 16.5)				

※収量: -0.5kg

**筋肉-脂肪 Soft Lean-Fat Analysis**

	低	標準	高
体重 (kg) Weight	55 70 85 100 115 130 145 160 175 190 205 % ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	59.1	
筋肉量 (kg) Soft Lean Mass	70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170 % ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	35.1	
体脂肪量 (kg) Body Fat Mass	40 60 80 100 160 220 280 340 400 460 520 % ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	21.8	

**肥満指標 Obesity Index Analysis**

	低	標準	高
BMI Body Mass Index (kg/m <sup>2</sup> )	10.0 15.0 18.5 21.0 25.0 30.0 35.0 40.0 45.0 50.0 55.0 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	24.0	
体脂肪率 (%) Percent Body Fat	8.0 13.0 18.0 23.0 28.0 33.0 38.0 43.0 48.0 53.0 58.0 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	36.9	

**部位別筋肉量 Segmental Lean Analysis**

	筋肉量 (%) 評価	部位
左	1.94 kg 98.1 % 標準	17.7 kg 95.4 % 標準
右	2.02 kg 102.2 % 標準	11.7 kg 240.0 % 高

**部位別体脂肪量 Segmental Fat Analysis**

	体脂肪量 (%) 評価	部位
左	1.6 kg 183.0 % 高	11.7 kg 178.0 % 高
右	3.0 kg 132.0 % 標準	3.0 kg 132.0 % 標準

**体成分履歴 Body Composition History**

	体重 (kg)	筋肉量 (kg)	体脂肪率 (%)
最近	65.3 35.6 41.3	63.9 35.5 40.7	62.4 35.2 39.2
□ 全体	61.8 35.2 39.0	62.3 35.3 39.4	60.9 35.2 38.6
	19.10.10 09:15	19.10.30 09:40	19.11.02 09:35
	19.12.15 11:01	19.01.12 08:33	19.02.10 15:50
	20.03.15 08:35	20.05.04 09:46	20.03.15 08:35

**より理想的な筋肉・脂肪の均衡を目指す**

→ 筋肉量更にUP

低体重・強靭型

\*摂取量UPで体脂肪量も標準範囲までUP

標準体重・健康型

過体重・強靭型

**筋肉量の上下・左右均衡のみ維持**

標準体重・強靭型

過体重・強靭型

Copyright © 1996~ by InBody Japan Inc. All rights reserved. IR-JPN-470R-170101

Copyright © 1996~ by InBody Japan Inc. All rights reserved. IR-JPN-470R-201014

次にPART2の部位別情報を参考にご自身の体成分状態に合う運動を探します。

## 筋肉量増加に効果的な運動

上肢筋肉量が他の部位より少ない場合



\*上半身の左右が不均衡の場合、少ない部位の頻度を増やしましょう。

体幹筋肉量が他の部位より少ない場合



下肢筋肉量が他の部位より少ない場合



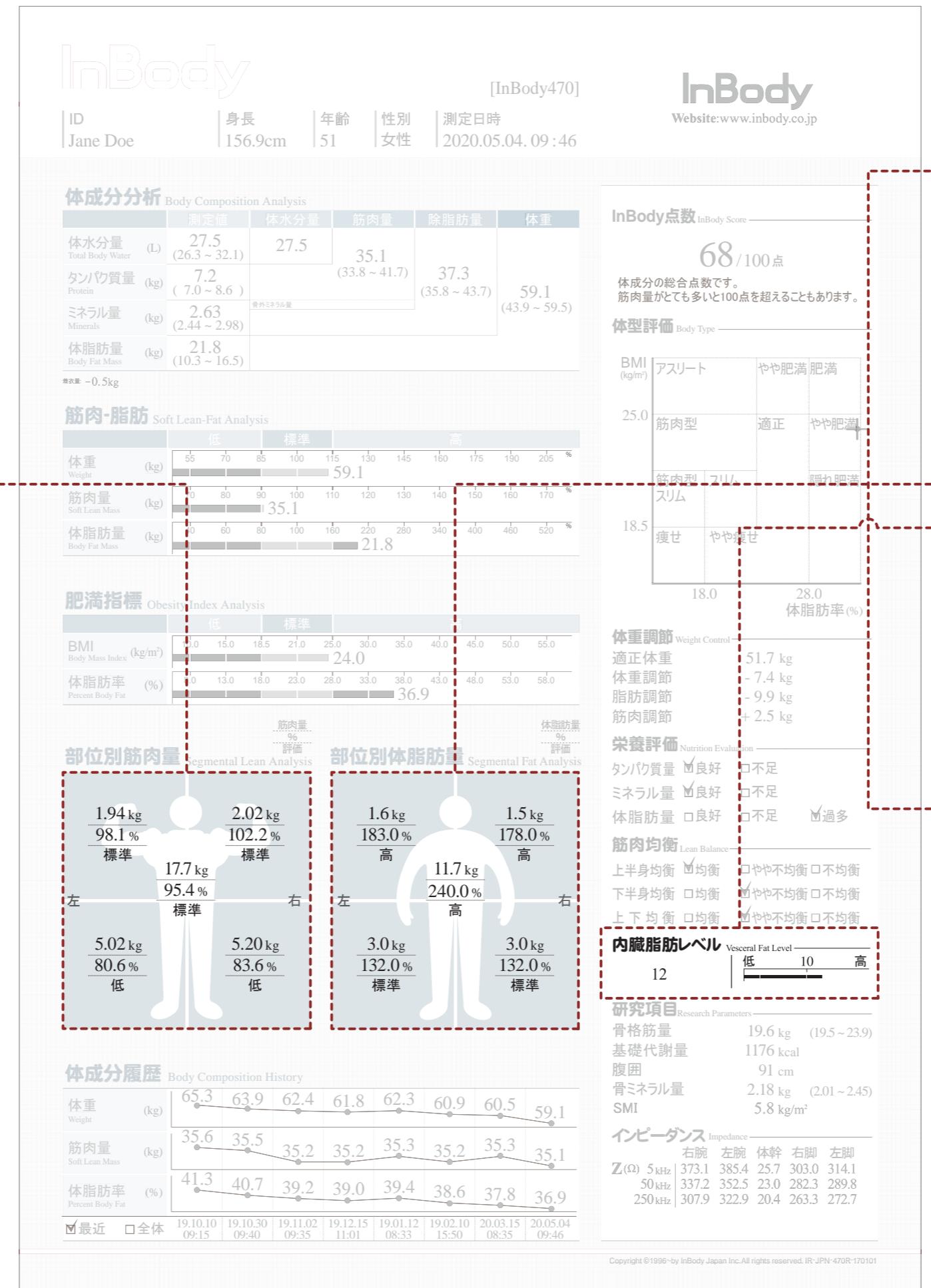
\*下半身の左右が不均衡の場合、少ない部位の頻度を増やしましょう。

△ 当資料は一般的に公開されている運動の種類や効果を参考に作成されています。

△ 体成分の測定結果を基に運動を実施するときは、必ず専門家と相談してください。

△ 運動の効果は強度・頻度、または栄養の摂取条件によって異なります。

△ 推奨運動が必ず該当する体成分の改善を保証するわけではありません。



## 体脂肪量減少に効果的な運動

上肢脂肪量が他の部位より多い場合



\*上記の運動は腕の血液循環を助けるストレッチで、体幹脂肪量の有酸素運動と併せて行いましょう。

体幹脂肪量が他の部位より多い  
または、内臓脂肪レベルが高い場合



下肢脂肪量が他の部位より多い場合



\*上記の運動は脚の血液循環を助けるストレッチで、体幹脂肪量の有酸素運動と併せて行いましょう。

筋力運動と有酸素運動、また上肢・体幹・下肢の運動  
は重複して実施しても構いません